

地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業 (2024)

事前勉強会（11月14日）

NPO法人 シンビオ社会研究会
会長 吉川 榮和

本日のプログラム

1. (14:00-14:15) 挨拶と趣旨、見学会メンバーの紹介 15分 吉川
2. (14:15-14:45) 見学会メンバーからの話題提供 30分 (発表20分 質問10分)
講演表題：「トランスサイエンス問題に関する討論型世論調査法についての実践研究」
講師：岩切 宏友 氏 (琉球大学教育学部教授) NPO法人シンビオ社会研究会 顧問
3. (15:00—16:30) 核燃施設の概要の講演と質疑応答 90分
講演表題：『むつ小川原開発区域と原子燃料サイクル施設』
講師：大塔 容弘 (おおとう よしひろ) 氏 (元日本原燃 (株) 取締役)
4. (16:30-16:40) 閉会の辞 10分 吉川

挨拶と趣旨、見学会メンバーの紹介

- 当会は先端エネルギー科学への次世代および一般社会に対するパブリックアウトリーチ活動に取り組んでいますが、このたびその取り組みの一環として、原子力発電環境整備機構（NUMO）の地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業（2024）に応募のところ2024年下期に採択されました。
- 提案した選択型学習は当会の役員および顧問全員を参加メンバーとして取り組むものですが、今年度はそのうちの6名が青森県六ヶ所村の核燃サイクル施設を2024年11月27-28日に施設見学を行い、その後学んだ結果をまとめて社会一般に発信することとしています。
- 6名の見学会メンバーは以下の通りです。
- 岩切宏友 琉球大学教育学部教授
- 森下和功 京大エネルギー理工学研究所准教授
- 安部正高 京大大学院エネルギー科学研究科准教授
- 門信一郎 京大エネルギー理工学研究所准教授
- 新田純也 アルカディアシステム(株)取締役
- 吉川榮和 京大名誉教授

事前勉強会の趣旨

- この度は、6名のメンバーによる核燃サイクル施設見学会に先立ち、事前勉強会を11月14日に開催することにしました。
- この事前勉強会では、本年度の当会の活動計画を簡単に紹介するとともに、実際に次世代へのトランスサイエンス問題の教育に携わっているメンバーから話題提供してもらおう一方で、日本原燃での業務経験の深いご専門の方に核燃施設の概要をご講演いただいて質問に答えてもらい見学先の核燃施設についての予備知識を深めるものとなりました。

今後の予定

- 見学会のスケジュール
 - 11月27日 現地への移動
 - 11月28日 日本原燃再処理工場他見学
- 見学会後には見学会のまとめを報告書として当会のホームページに掲載して公開、シンビオ通信特別号としてメール配信のほか、公開の報告会の開催も検討しています。